

(5) 観光への影響について**想定課題**

本県は、豊かな自然を特徴にして誘客を図ってきたが、都市化することにより観光への影響はどうか。

対応方向

国会等の移転は、自然との共生を大きなテーマとしており、本県那須地域は、国会等移転審議会における総合評価の評価項目「景観の魅力」で最高（満点）の評価を受けました。このことは、本地域が21世紀の新しい日本の顔にふさわしい自然景観を有していると認められたことと思われます。本県としても、今後も豊かな自然を特徴とした観光の振興を図っていくといった施策の方向に変化はないと考えます。

しかし、最近の観光客のニーズには、自然との触れ合いや体験をはじめ、観光地における様々な楽しみを求める傾向があらわれており、単なる豊かな自然を特徴とするだけでは、他の観光地との競争激化に耐えられない状況ともなっています。

国会等の移転は、本県に都市的文化的機能の強化をもたらすものと考えられ、観光客にとっては、従来通りアウトドアライフや観光が身近に楽しめるとともに、都市の持つ文化的側面をも併せて享受できることとなります。

さらに、新都市を中心とした国際会議等様々なコンベンションの開催が頻繁になり、平成11年12月の「日光の社寺」の世界遺産登録とも併せて、国内外からの来訪者の増加が予想されますので、本県全域にわたる観光の活性化につながるものと考えます。

那須地域の各市町村の観光入込客数（推計）

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	伸び率(%) 2000/1995
大田原市	287,500	276,900	271,260	286,930	252,410	318,630	110.83
矢板市	655,800	745,700	824,640	822,310	825,170	807,180	123.08
黒磯市	999,600	1,073,000	1,087,830	1,022,610	1,088,340	1,070,590	107.1
塩谷町	74,400	75,100	70,040	82,420	83,810	78,550	105.58
氏家町	90,500	53,900	64,380	55,820	63,870	99,430	109.87
高根沢町	772,700	706,400	924,810	1,248,180	1,187,530	1,151,940	149.08
喜連川町	943,500	892,600	850,420	913,890	909,550	860,860	91.24
南那須町	437,000	379,600	350,930	335,630	303,090	300,900	68.86
烏山町	656,600	655,500	941,590	837,000	840,870	813,490	123.89
馬頭町	790,300	790,200	783,660	854,610	874,910	887,200	112.26
小川町	175,900	183,400	186,960	241,630	244,760	236,310	134.34
湯津上村	389,700	351,800	345,160	340,500	335,670	362,530	93.03
黒羽町	786,500	629,100	823,720	714,490	739,730	727,100	92.45
那須町	5,329,600	5,615,600	5,567,320	5,159,180	5,265,850	4,954,310	92.96
西那須野町	2,002,000	1,974,700	1,888,620	1,801,780	1,832,290	1,786,490	89.24
塩原町	3,608,900	3,368,200	3,200,300	3,122,000	3,309,100	3,176,000	88
那須地域計	18,000,500	17,771,700	18,181,640	17,838,980	18,156,950	17,631,510	97.95
栃木県全県	51,186,500	52,254,900	52,782,370	52,474,750	52,786,100	52,363,290	102.3
那須地域のシェア	35.17%	34.01%	34.45%	34.00%	34.40%	33.67%	

資料：栃木県商工労働観光部「平成12年度栃木県観光客入込・宿泊数推定調査」